

4 FDに関する取り組みについて

大学教育開発センターでは、教員個人及び各学部・研究科等がおこなう教育改善活動と有機的に連携を図りながら、FDの実質化をめざし、全学的な視点から各種FD事業を企画・実施した。

● 全学的教学資産の共有化

教学資産の共有とFDの普及をめざし、大学にとって必要な研究をおこなう3件の指定研究プロジェクトを推進するとともに、7件の自己応募研究プロジェクトについて、教員個人又はグループ等の研究を支援した。また、各学部が主催するFD報告会を2011年度に引き続き、学内に公開・共有し、各学部のFD活動の取組状況や成果を全学に紹介した。



● 教育課題の共有と教育力の向上

学生による学期末の授業アンケートをはじめ、学期半ばの授業アンケートやFDフォーラム、FDサロン等の実施に加え、学修支援の充実を図るため、文学部及び理工学部において教員-学生間のインタラクティブな教育環境整備の一環として、授業アンケートをWeb上で実施した（理工学部においては試行的実施）。また、シラバスに関する研修会、キャリア教育に関する講演会を新たに開催し、教職員間で教学課題を共有することにより教育力の向上をめざした。

● 大学院FDのあり方の検討

指定研究プロジェクトとして他大学の大学院FD事例について研究するとともに、本学の大学院の実状に即した事業を推進するため、大学院生の意識やニーズに関する全学的な情報収集を、2011年度に引き続きおこなった。また、12月には大学院FDをテーマとした「第8回龍谷大学FDフォーラム2012」を開催した。